



平成 22 年 10 月 4 日
四 国 地 方 整 備 局

入札監視委員会の審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会第二部会は、本年度第2回定例会議を下記のとおり開催しました。

審議内容は、四国地方整備局（港湾空港関係）が平成22年3月から平成22年6月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した8件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成22年9月17日（金）

会 場 高松サンポート合同庁舎 13階会議室

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061（代表）

四国地方整備局入札監視委員会事務局

総括調整官 佃 隆 治（内線6212）

事業計画官 芳 我 耕 治（内線6214）

経理調達課長 松 本 辰 雄（内線6311）

別添1

四国地方整備局 入札監視委員会第二部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成22年9月17日(金) 高松サンポート合同庁舎13階会議室					
委員 (部会委員 3名)	部 会 長 藤本 邦人(弁護士) 委 員 桑原 正行(大学准教授) 委 員 小竹 望(高専教授)				敬称略 委員は50音別	
審議 対象期間	平成22年3月1日～平成22年6月30日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事1件、建設コンサルタント業務等6件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件 名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札 者数	落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用対象 外工事)	高松港朝日地区岸壁(－12m)築 造工事	五洋・不動テトラ 特定建設工事 共同企業体	552,300	4	85.41
建設コン サルタン ト業務等	一般競争	松山港湾・空港整備事務所監督 等補助業務	(株)エイト日本 技術開発	30,975	2	80.91
	簡易公募型競 争入札方式	撫養港海岸土質調査	中央復建コンサル タantz(株)	34,556	10	83.51
	通常指名競争 入札方式	高知港三里地区深淺測量	復建調査設計 (株)	5,460	8	75.58
	公募型プロ ポーザル方式	須崎港海岸等耐震照査業務	(株)ニュー ジェック	202,545	5	98.77
	簡易公募型ブ ロポーザル方 式	四国沿岸域温暖化影響予測業務	一般財団法人 日本気象協会	35,175	4	98.13
	参加者の有無を 確認する公募手 続きを行った契 約方式	護岸の耐津波性能検討業務	(独)港湾空港 技術研究所	39,995	1	100.0
役 務 及び物品	一般競争	港湾空港WANシステム管理等業 務	(株)富士通エフ サス	13,549	1	98.35
報告事項	①指名停止の運用状況					
	②談合情報等の対応状況					
	③低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

(注)プロポーザル方式においては、「入札者数」は「技術提案書の提出者数」である。

別紙 委員からの意見・質問、それらに対する回答等

1. 抽出案件の審議概要

1. 工事 一般競争入札方式(WTO適用対象外工事)

抽出案件	意見・質問	回 答
高松港朝日地区岸壁 (-12m)築造工事	技術提案の「監督職員の承諾を得られた場合」という表現はどういうことか。 施工体制確認型総合評価落札方式の試行工事とあるが、この方式の意図について補足説明してほしい。	工事に着手してから保安部等への港内作業申請が必要な場合などは監督職員の承諾が必要となる。提案としては可だが、承諾が得られた場合に限り実施可能であるという意味である。 品質確保の実効性があるかという観点から、その人員の体制、出来形や品質の管理計画、安全衛生の管理計画等を評価し、施工体制確保の確実性という観点から施工体制台帳や配置予定技術者をヒヤリングして評価を行っている。

2. 建設コンサルタント業務等 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
松山港湾・空港整備 事務所監督等補助業務	評価値はどのような計算方法になっているのか。 技術者評価はどのように行っているのか。どういう場合満点になるのか。 入札参加表明者が2者であるが、想定される業者はどれくらいあったのか。	加算方式により行い、技術点と価格点を足したものが評価値となる。価格点は20点満点で$20 \times (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$で計算される。 評価点算定基準が定められており、技術士であれば評価Aというように決まっている。評価Aであれば20点、評価Bであれば10点となっている。 当局で事前に確認している範囲では、同種業務実績が20者、類似業務実績が4者、合わせて24者あった。

3. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
撫養港海岸土質調査	資格要件が同種業務の実績となっているが、この実績はどう確認するのか。	すべての業務について、「テクリス」というデータベースに実績が登録されており、それらを利用し確認している。このテクリスには国土交通省だけでなく公団や県等の実績も登録されている。

4. 建設コンサルタント業務等 通常指名競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
高知港三里地区深淺 測量	業者選定で、最終的に手持ち契約額の低いものというところで順位付けしているのはどういう意味合いか。 入札した8社の半数の4社が予定価格を超えているが、こういうことはよくあることか。	指名審査基準で順位付けの手順が定められており、受注機会を増やすという意図である。 価格競争の場合、こういった状況もよくあることである。

5. 建設コンサルタント業務等 公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回 答
須崎港海岸等耐震照査業務	落札率が高いが、ある程度この種の業務については予定価格が予想されるものなのか。 特定テーマに対する技術評価は3人で行っているのか。	公示をする段階で、説明書に業務量の目安として概算金額を明記しており、業者はその範囲内で業務を提案している。 3人の合議制で評価している。

6. 建設コンサルタント業務等 簡易公募型プロポーザル方式

抽出案件	意見・質問	回 答
四国沿岸域温暖化影響予測業務	日本気象協会は四国では過去4年間の業務実績がないが、これまで全然実績がなかったのか。 特定テーマに対する評価は、専門的な知識を持った者が行っているのか。	全国的には過去4年間に業務実績もあり、当局においては過去4年以前には受注実績があった。 技術調査事務所のそういった調査を担当する課長クラス、本局の課長補佐クラスで評価している。

7. 建設コンサルタント業務等 参加者の有無を確認する公募手続きを行った契約

抽出案件	意見・質問	回 答
護岸の耐津波性能検討業務	以前であれば、ここしかないということで随意契約をしていたと思うが、こういう形の契約方式はいつごろからか。 浸水深1.5m以上の大規模津波を1/2スケール以上で再現できる実験施設を有する者は他にいないのではありませんか。また、スケールをもっと小さくすれば他に参入可能な者がいるのではないかと。	契約の公平性・透明性の確保という観点から、3年ぐらい前からこの方式を取り入れている。 民間企業がどういう施設を持っているということまで把握していないが、技術的にも現象をより良く再現すべきであり、実際に1/2のスケールを再現できる施設があるため、これよりスケールを下げることは考えていない。

8. 物品・役務 一般競争入札方式

抽出案件	意見・質問	回 答
港湾空港WANシステム管理等業務	入札内訳書がついているが、なぜ提出させているのか。 1社入札になっているが理由はわかるか。	この契約は、単価契約のため、内訳書を提出させている。 なぜ、他の業者が応募してこなかったかは不明だが、当局の導入しているシステムと違う業者は、システムについて不安があったのではないかと推測される。